

| | | | | |
|---------------------------------|---|--------|-------|-------|
| プログラム名 | キャンドル作り | | 時 間 | 1～3時間 |
| ねらい | 1 豊かな創造性を培うとともに、手作りの喜びを味わう。 2 用具の安全な使用方法を体得する。 3 自然のものを使用することにより「玄海の家」での活動の思い出とする。 | | | |
| 活動内容 | 1 活動形態 → 個人 2 内 容 → 溶かしたろうにクレヨンで色をつけ、それを紙コップやグラスなどの容器に注ぎ、オリジナルのキャンドルを作る。 | | | |
| 対 象 | 制限なし | 活動可能人数 | 50名程度 | |
| 展 開 例 | 1 集 合 <ul style="list-style-type: none"> ・事務室への連絡 ・指定された場所と時間に集合（入所時に確認） ・参加人員と健康状態の把握 2 事前指導 （「玄海の家」指導員・約10分） <ul style="list-style-type: none"> ・活動道具の準備、配布 ・説明および諸注意（実施方法、安全、マナー等） 3 活 動 <ul style="list-style-type: none"> ・溶かしたろうを容器に入れる。 ・ろうが固まる前に芯糸を真ん中に入れる。 ・ろうが固まると完成。 4 事後指導 （各団体） <ul style="list-style-type: none"> ・道具の後片付け、ゴミの処理 ・人員確認および借用物の確認と事務室への返却 ・評価と反省 | | | |
| 実 施 上 の 留 意 点 | 1 研修室の使用などがあるので、利用前に十分事前打ち合わせをする。 2 制作の進度に差が出るため、時間設定に余裕をもたせる。 3 作り方、用具の使用方法、片付けなど事前指導として「玄海の家」職員が実施する。 4 用具の貸し出し、返却は職員の点検を受けて確実にを行う。 5 刃物、火気を使用する場合は、ケガや火傷がないように十分注意する。 6 細かい作業は、必要に応じて指導者が行う。 | | | |
| 引率者の役割 | カセットコンロの取り扱い、用具・火の管理 | | | |
| 「玄海の家」で準備できる物 | カセットコンロ(3)、なべ(3)、湯せん用の缶(9)、はさみ、キャンドル作成シート | | | |
| 利用団体で準備する物 | カセットガス、クレヨン、ろうそく（中）、おちょこ程度のグラス/人（紙コップ/割り箸（芯固定用）、軍手、布ガムテープ（キャンドル作成シート利用の場合のみ） | | | |